

# 令和5年度長野技術専門校運営協議会 主な意見

日 時: 令和5年11月20日(月)

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方
訓練生募集に関する事	共通	・技術専門校の長所、例えば授業料が低額、1年という短期間で資格が取得できる、きめ細かい指導で地元の就職率が高いということを強調してPRをしたらどうか。(長野県建設労連長埴建設労働組合)	高校生等にPRする際に、ご指摘いただいた技術専門校の利点がいましっかりと伝わるよう広報媒体への掲載も含めて対応してまいります。
		・ターゲットを高校生から専門学校や短大や大学生、第2新卒へも広げて募集をしたらいかがか。(長野県電気工業工業組合長野支部)	ハローワーク主催の就職ガイダンス等に参加するなど、大学生や第2新卒へのPRを強化してまいります。
		・電車では中吊り広告よりもスマホを見ている人の方が多い。インスタやYouTubeなどを使った広告の方が効果があるのではないか。(篠ノ井公共職業安定所)	SNS(X、YouTube)を活用した発信に加えて、今年度からはInstagramを始めています。これらを積極的に活用して、若者を中心に技術専門校の周知を図ってまいります。
		・就職希望者は減少傾向。奨学金を使って進学する生徒がほとんどであり、大学、短大よりも本当に興味があってやりたいことを学べる学校へ行きたいという生徒が非常に多い。パソコン系、プログラミング系、eスポーツ系というような細かい選択をしており、県内に学べる学校がなければ県外へ行くという選択もしている。私立の専門学校はお金をかけて宣伝をしていることもあって、そこに惹かれるということもあるかと思われる。(松代高校)	技術専門校には、有為な若年技能者を育成するとともに地域の産業界に必要な人材を輩出する役割があります。その役割を果たすためには、今後益々地域や企業との連携が重要になってきますので、地域の企業に求められている技能者の仕事をいかに若者にPRし、浸透させていくか、高校や業界の皆様にもご協力いただきながら検討してまいります。
		・高校でのキャリアガイダンスに業界の方が出向いて、各職業の魅力をPRするような機会を設けてはどうか。(長野県建設労連長埴建設労働組合)	地域の学校からキャリア教育に関するニーズを伺いながら、当校訓練科の訓練や仕事を体験してもらう場として、どのような場が考えられるか検討してまいります。
		・義務教育の夏休みを活用して、小・中学生の体験入校を実施してみたいか。(長野県電設業協会長野支部)	
		・ネットも情報発信には効果があるが、口コミや、知り合いからの声かけの方が牽引力があると思う。それぞれの立場で各職場の魅力を広げていきましょう。(長野県建設労連長埴建設労働組合)	様々な機会をとらえてものづくり産業の魅力を伝えていくことが訓練生の増加につながると考えています。若者を対象としたイベントや各高校が実施する就職ガイダンスなど、魅力を伝えることが可能な場を積極的に発掘し、PRに努めてまいります。
		・若い人は外見も重視するため、校舎の老朽化への対応や、最新の機械や設備を設置して見てもらうような機会を設けたらいかがか。(篠ノ井公共職業安定所)	平成30年度に校舎の耐震改修工事、令和5年度に照明LED化工事、空調設備設置工事を行っているが、今後も若者に魅力的な施設となるよう改修に努めてまいります。また、訓練設備の更新にも努め、オープンキャンパスやSNS等で発信してまいります。
カリキュラムに関する事	共通	・企業の求めているものと訓練がより近ければ近いほど、企業からのニーズは高まる。企業のニーズに沿ったカリキュラム内容の設定をお願いしたい。(長野商工会議所)	県では数年ごとに各業界の要望等を伺う「人材育成ニーズに関するアンケート調査」等を行っています(近年では令和3年度実施)が、それに加えて指導員が関係企業の要望等をお聞きしておりますので、カリキュラムへの反映など柔軟に対応してまいります。